

令和元年8月7日

青森県議会議長 森内 之保留 殿

青森県議会議員	山田	知	
青森県議会議員	川村	悟	
青森県議会議員	一戸	富美雄	
青森県議会議員	関	良	
青森県議会議員	木明	和人	
青森県議会議員	福士	直治	

議員派遣結果報告書

下記のとおり議員派遣を終了しましたのでその結果を報告します。

記

1. 派遣目的

(1) 熊本県における農林水産物を活かした地域活性化対策と認知症対策についての調査

熊本県では、「くまもと県南フードバレー構想」を推進しており、構想のさらなる加速化を図るため、企業や農業者のニーズに即したサポートを行うオープンイノベーションの拠点となる「フードバレーアグリビジネスセンター」を整備し、平成27年4月から業務を開始している。

このセンターの機能を最大限に発揮し、6次産業化や事業拡大へのワンストップ対応、農業者と企業とのマッチングによる新たなビジネス展開の創出、高付加価値化のための機能性や流通鮮度保持の試験研究、農業者や企業が自ら行う研究の支援などに取り組むことにより、6次産業化等担い手の育成、ビジネス創出を推進し、地域の活性化に取り組んでいる。

また、熊本県では、全国初めて運転免許センターの相談窓口には医療専門職を配置し、認知症の早期発見につなげるため、「運転適正相談における認知症等早期対応推進事業」を実施している。

このようなことから、熊本県における農林水産物を活かした地域活性化対策と認知症対策について調査し、本県の取組の参考としたい。



(2) 世界農業遺産「高千穂郷・^{しいばやま}椎葉山の山間地農林業複合」システム」及び宮崎県における地域資源の掘り起こしによる地域活性化対策、防災・減災対策についての調査

本県においては「青森りんご」で世界農業遺産認定を目指す動きがあることから、宮崎県高千穂町における「高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム」の世界農業遺産認定までの経緯と現状について調査し、本県の取組の参考とする。

また、本県の歴史・文化を継承していくための保存と活用の取組みも行われようとしているが、宮崎県では、地域の伝説や史跡などを県の宝として再認識し、情報発信をして「神話のふるさとみやざきブランド」を確立し、地域の活性化や将来の県づくりに繋げていこうとしている。

さらには、「災害に備えをしている人の割合を100%にする」ことを目標として、防災・減災対策に取り組んでいるところであるため、これらを調査し、本県の地域活性化及び総合防災訓練等の強化につなげたい。

2. 派遣場所

(1) 熊本県庁

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺六丁目18-1 (TEL:096-333-2614)

(2) 宮崎県高千穂町役場

〒882-1192 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13 (TEL:0982-73-1219)

(3) 宮崎県庁

〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10-1 (TEL:0985-26-7217)

3. 派遣期間(日程表添付)

令和元年7月10日(水)～7月12日(金)